ArcGIS

# Geodatabase in SQL Server
## セットアップガイド

esri ジャパン

# 目次

**はじめに** ..... 1

**セットアップの概要** ..... 2

**DBMS のセットアップ** ..... 3

SQL Server のインストール ..... 3

SQL Server へのサービス パック/ 更新プログラムの適用 ..... 15

**DBMS クライアントの設定** ..... 16

ODBC Driver のインストール ..... 16

**エンタープライズ ジオデータベースの作成** ..... 24

SQL Server エンタープライズ ジオデータベースの作成 ..... 24

**動作確認（ユーザーの作成およびデータ格納）** ..... 28

SQL Server エンタープライズ ジオデータベースへの接続 ..... 28

SQL Server ユーザーの作成 (データベース ユーザーの作成) ..... 29

データの格納 ..... 30

**インストール済みの環境のアップグレード** ..... 33

ArcGIS クライアントのアップグレード ..... 33

SQL Server エンタープライズ ジオデータベースのアップグレード ..... 33

**FAQ** ..... 38

*エンタープライズ ジオデータベースの作成に必要な製品（ライセンス）は何ですか？* ..... *38*

*ArcGIS GIS Server Basic で使用可能な機能はなんですか？* ..... *38*

*ArcGIS Pro で作成 / アップグレードされたエンタープライズ ジオデータベースと対応する ArcGIS クライアント のバージョンは何ですか？* ..... *38*

*エンタープライズ ジオデータベースの作成に失敗します。* ..... *39*

**参考資料** ..... 40

# はじめに

本ガイドでは、SQL Server のエンタープライズ ジオデータベースをセットアップする手順を解説します。

> ⚠ 本ガイドは、DBMS サーバーへ SQL Server をセットアップし、クライアントの ArcGIS Pro からエンタープライズ ジオデータベースを使用するための作業を分かりやすく示すことを目的としています。そのため、最低限の手順・設定のみを記載しており、運用環境におけるセットアップを前提としておりません。運用環境を構築する際には ArcGIS ヘルプの「Microsoft SQL Server のジオデータベース」以下の使用する DBMS の章を参照して下さい。また、ESRI ジャパンでは使用する DBMS 自体のサポートは行っておりませんので、使用する DBMS の各種ドキュメントをご参照頂き作業を行って下さい。

本ガイドで解説されている環境は以下の通りです。

| | |
|---|---|
| オペレーティング システム (DBMS サーバー) | Windows Server 2022 Standard (64-bit) |
| オペレーティング システム (ArcGIS クライアント) | Windows 10 Pro (64-bit) |
| DBMS | SQL Server 2022 Enterprise (64-bit) |
| ArcGIS クライアント | ArcGIS Pro 3.1 Standard |

※Linux 版の SQL Server を使用される場合は、下記のヘルプをご参照ください。

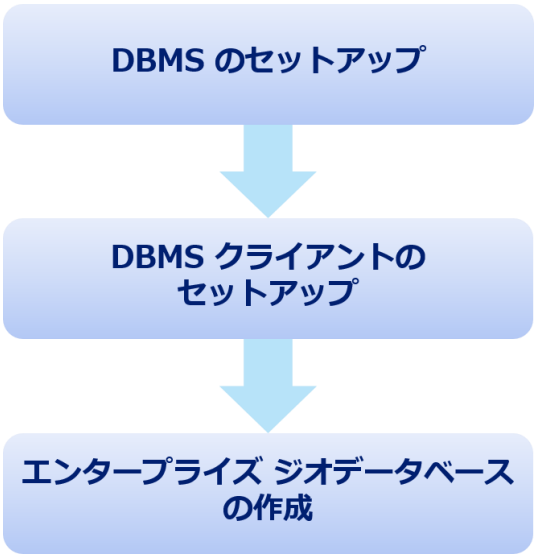
※ArcGIS Pro の基本的な操作方法は、ArcGIS Pro のドキュメントをご参照ください。

※最新のエンタープライズ ジオデータベースの動作環境については下記を参照してください。

- ArcGIS Enterprise 動作環境ページ：データベース / ジオデータベース
  https://www.esrij.com/products/arcgis-enterprise/environments/

# セットアップの概要

エンタープライズ ジオデータベースのセットアップは、まず DBMS のセットアップを行い、その後 DBMS にエンタープライズ ジオデータベースを作成して完了します。本ガイドでは、ArcGIS Pro を使用してエンタープライズ ジオデータベースを作成します。ArcGIS Pro をアップデートすることで既知の問題の修正やパフォーマンスの向上が行われますので、ソフトウェアをアップデートし、最新の状態にしておくことをお勧めします。




1. DBMS のセットアップ
2. DBMS クライアントの設定

   ArcGIS Pro から DBMS に接続するために、DBMS クライアントの設定を行います。
3. エンタープライズ ジオデータベースの作成

   ArcGIS Pro の [エンタープライズ ジオデータベースの作成] ジオプロセシング ツールを使用して、エンタープライズ ジオデータベースを作成します。

# DBMS のセットアップ

以下では SQL Server のセットアップ手順を説明します。手順は DBMS サーバー上で行います。

## SQL Server のインストール

SQL Server のエンタープライズ ジオデータベースを作成する前に DBMS サーバーに SQL Server ソフトウェアがインストールされ、 SQL Server インスタンスが構成されている必要があります。以下の手順で SQL Server をインストールし SQL Server インスタンスを構成します。

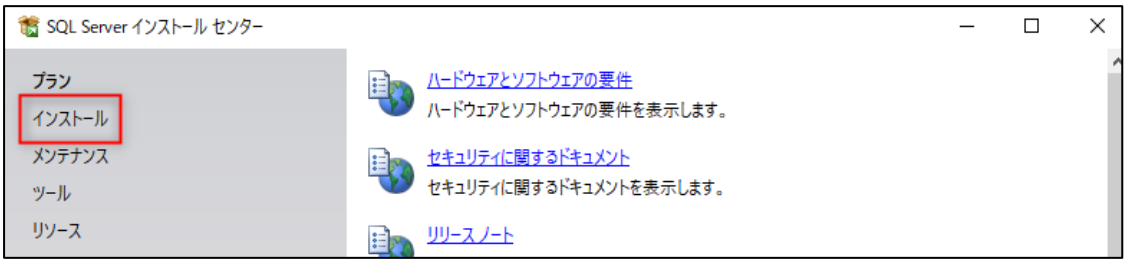
【注意】

Windows Update の実行状況等により SQL Server のセットアップで表示される画面の表示順が多少異なる可能性があります。

SQL Server をインストールする前に、必ず下記の Microsoft のページを参照し、要件を満たしていることをご確認ください。

- SQL Server のインストールに必要なハードウェアおよびソフトウェア
  https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/sql-server/install/hardware-and-software-requirements-for-installing-sql-server

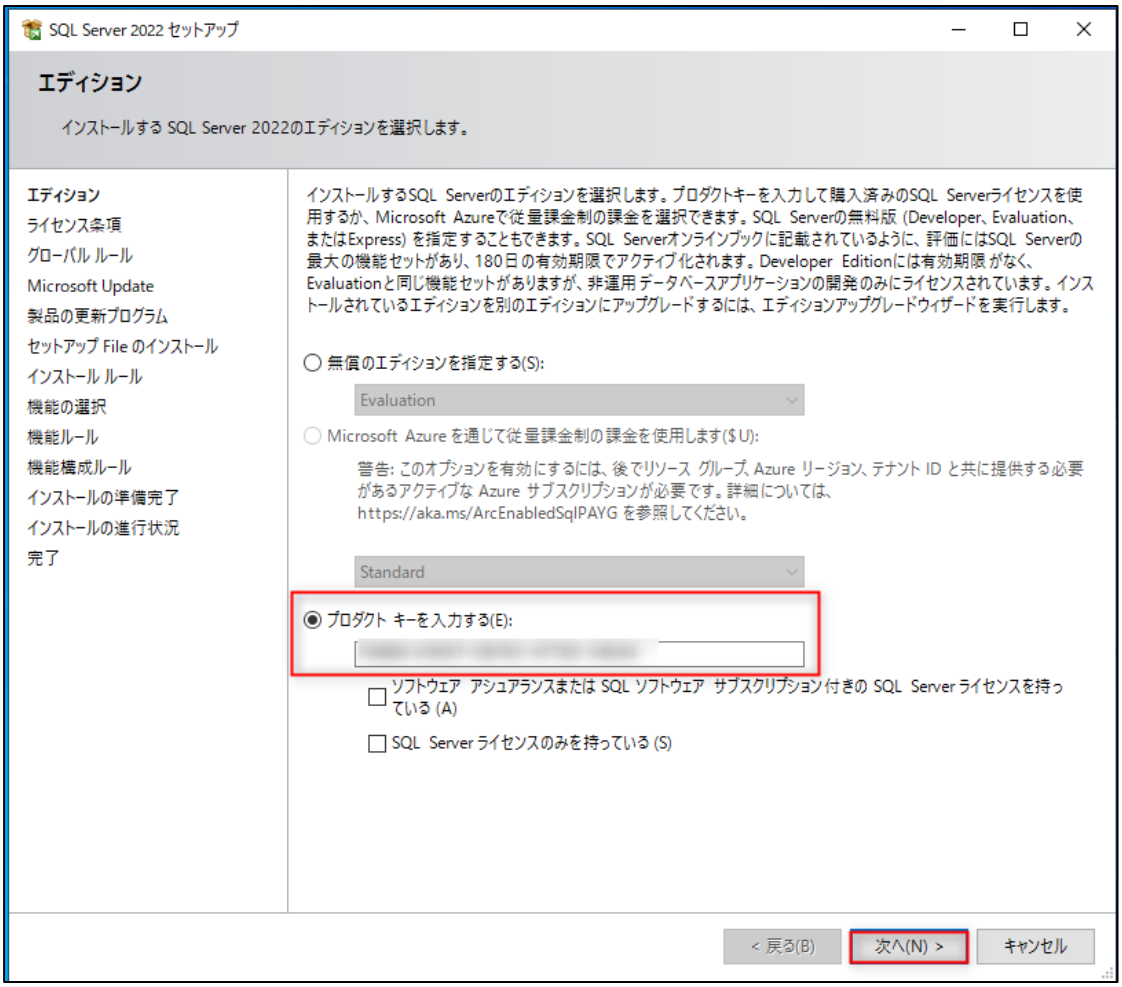
1. SQL Server のインストール・ディスクを挿入し管理者権限でインストールを開始します。SQL Server インストール センターが起動したら [インストール] をクリックします。



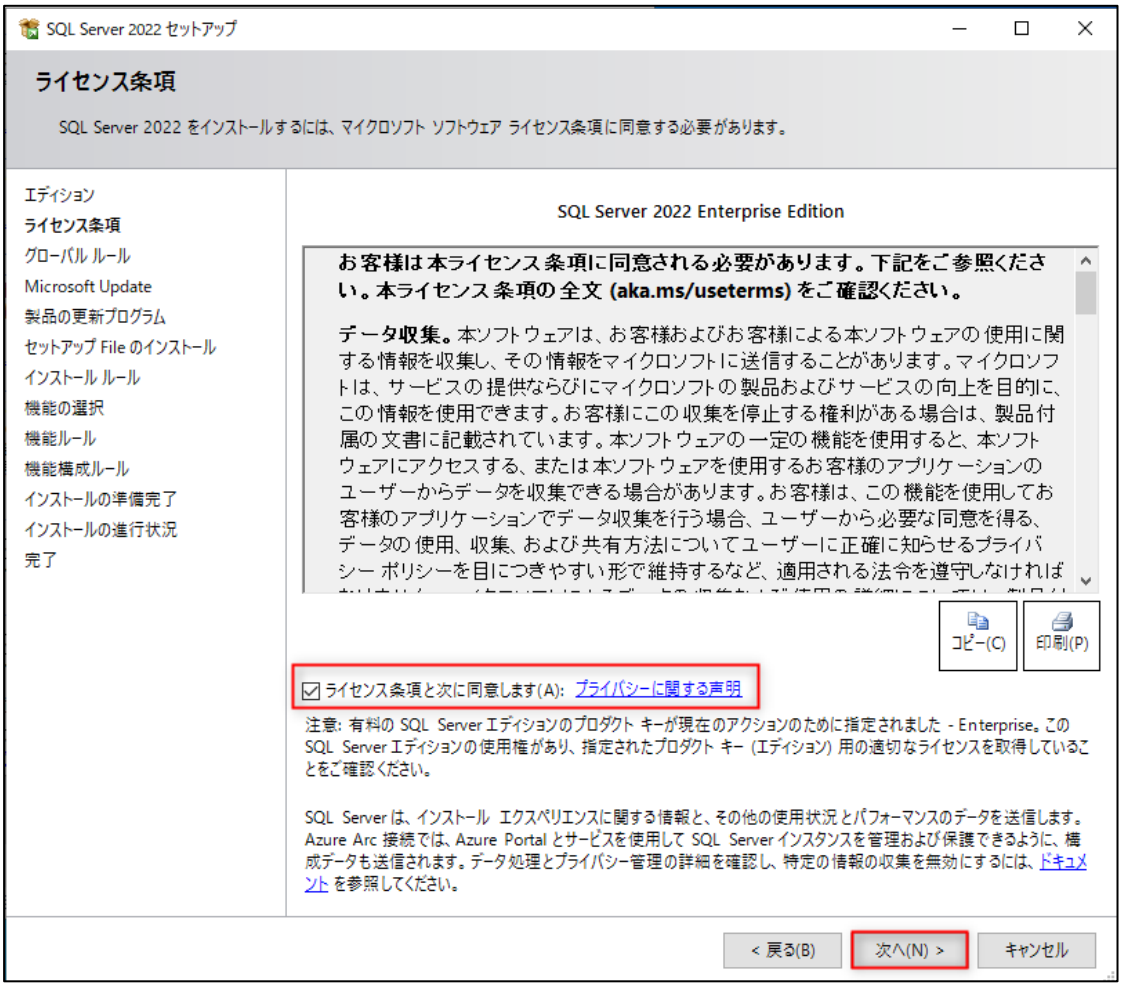
2. SQL Server インストール センターの右側のパネルにインストールのオプションが表示されます。[SQL Server の新規スタンドアロン インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加] をクリックします。




3. [プロダクト キー] 画面が表示されます。SQL Server 2022 のプロダクト キーを入力し、[次へ (N)] ボタンをクリックします。

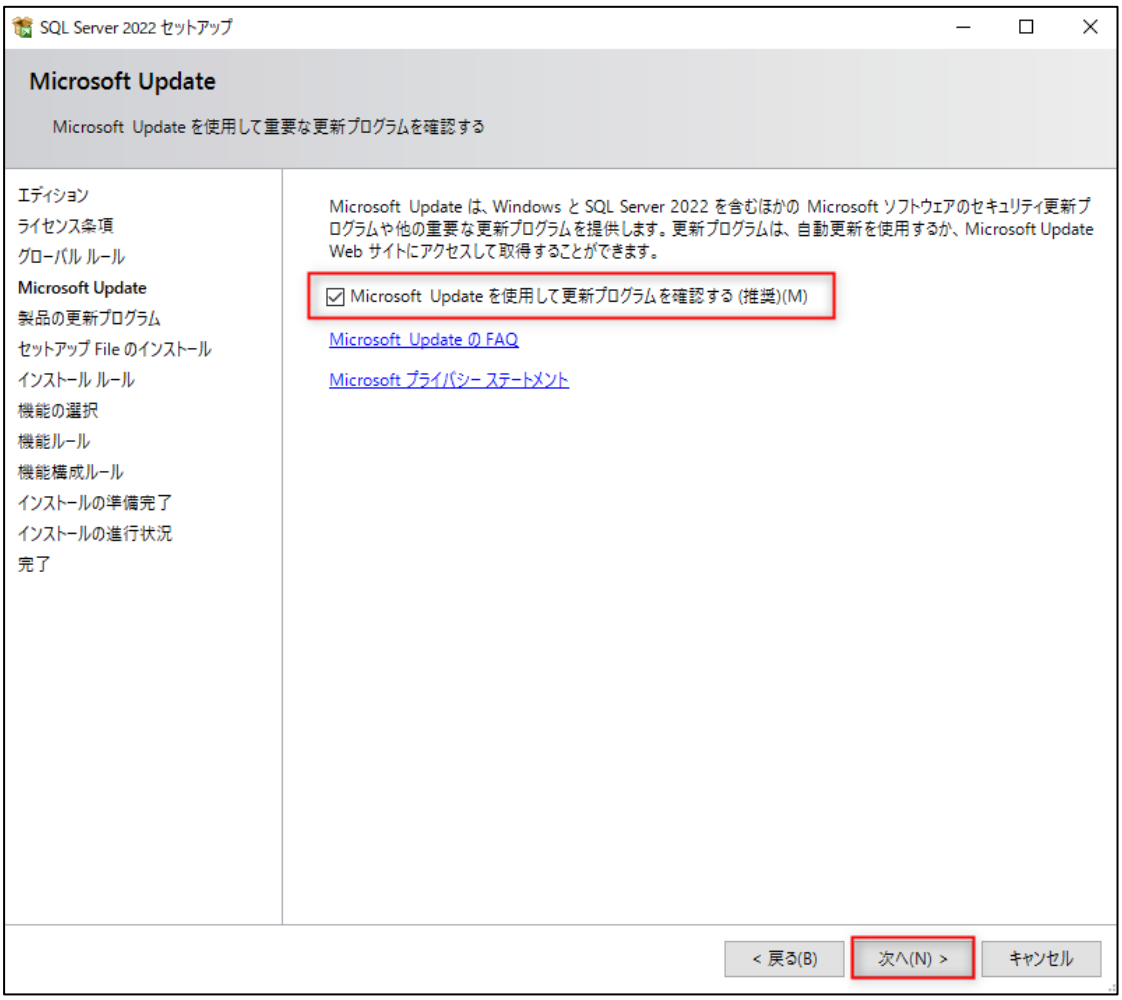


4. [ライセンス条項] 画面が表示されます。内容を確認し、同意する場合には [ライセンス条項に同意します。(A)] をチェックし [次へ (N) >] ボタンをクリックします。



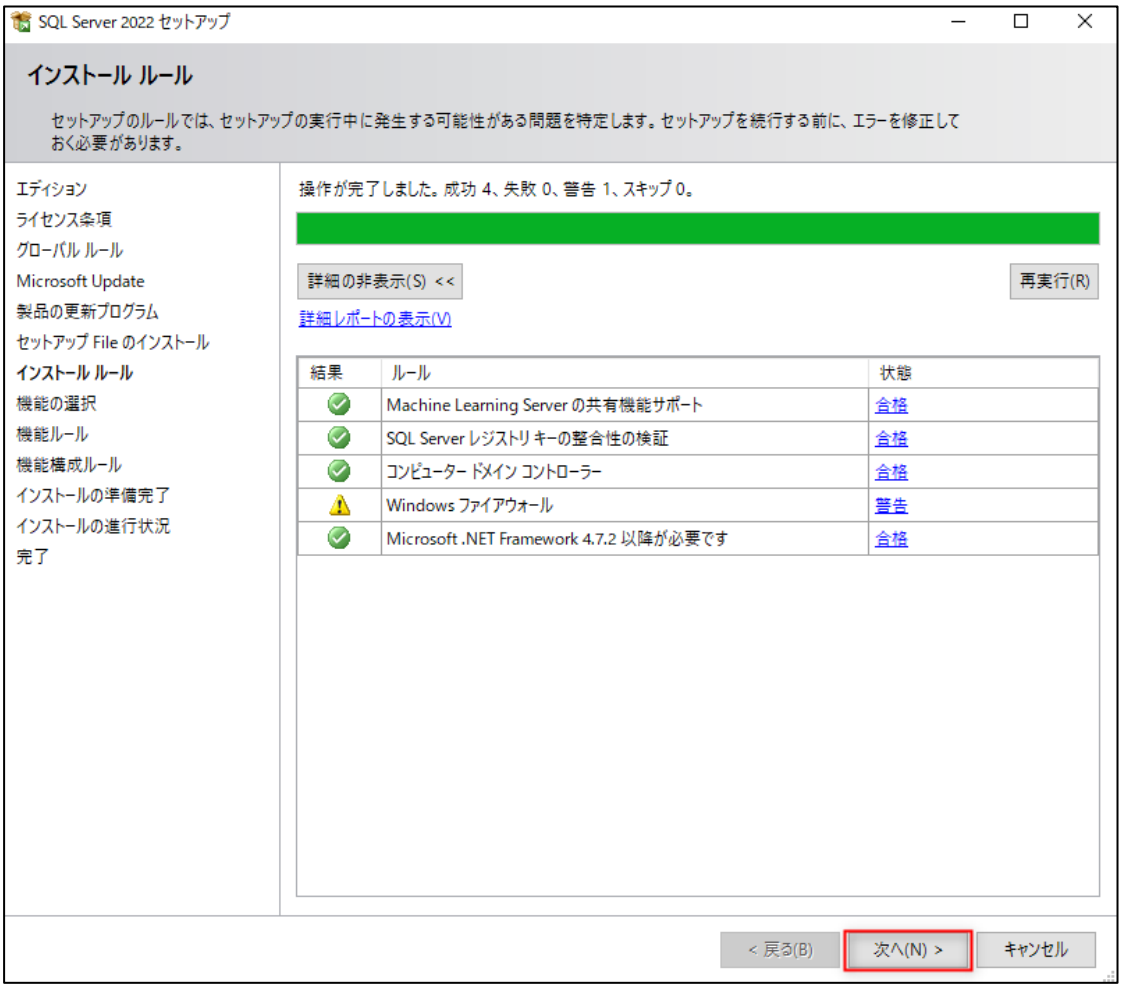

5. [グローバル ルール] 画面が表示されます。完了後に次の画面に遷移します。

6. [Microsoft Update] 画面が表示されます。必要に応じて [Microsoft Update を使用して更新プログラムを確認する（推奨）（M）] にチェックを入れ [次へ(N) >] ボタンをクリックします。




7. [セットアップ ファイルのインストール] 画面が表示されます。自動的にインストールが行われ、完了後に次の画面へ遷移します。

8. 実行結果の中に「失敗」または「警告」が存在した場合は詳細が表示されます。デフォルトの構成では、Windows ファイアウォールは SQL Server への接続を許可していないため、警告が返されます。ファイアウォールの設定は後で変更することが可能なため、ここでは [次へ] ボタンをクリックします。



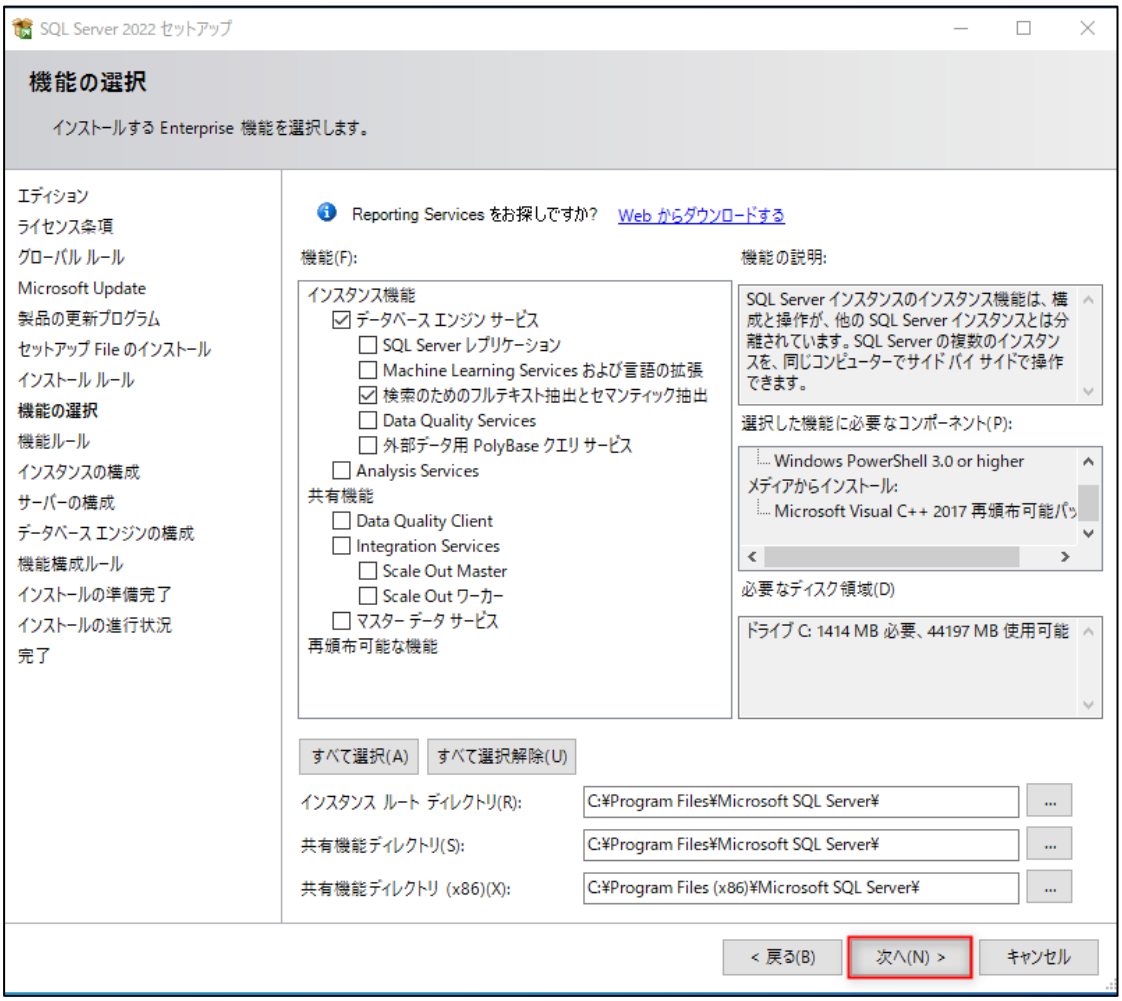
9. [機能の選択] 画面が表示されます。インストールする SQL Server の機能のチェックボックスにチェックをして [次へ (N)] ボタンをクリックします。

   以下は SQL Server データベースをエンタープライズ ジオデータベースとしてのみ使用する場合の最小の機能です。

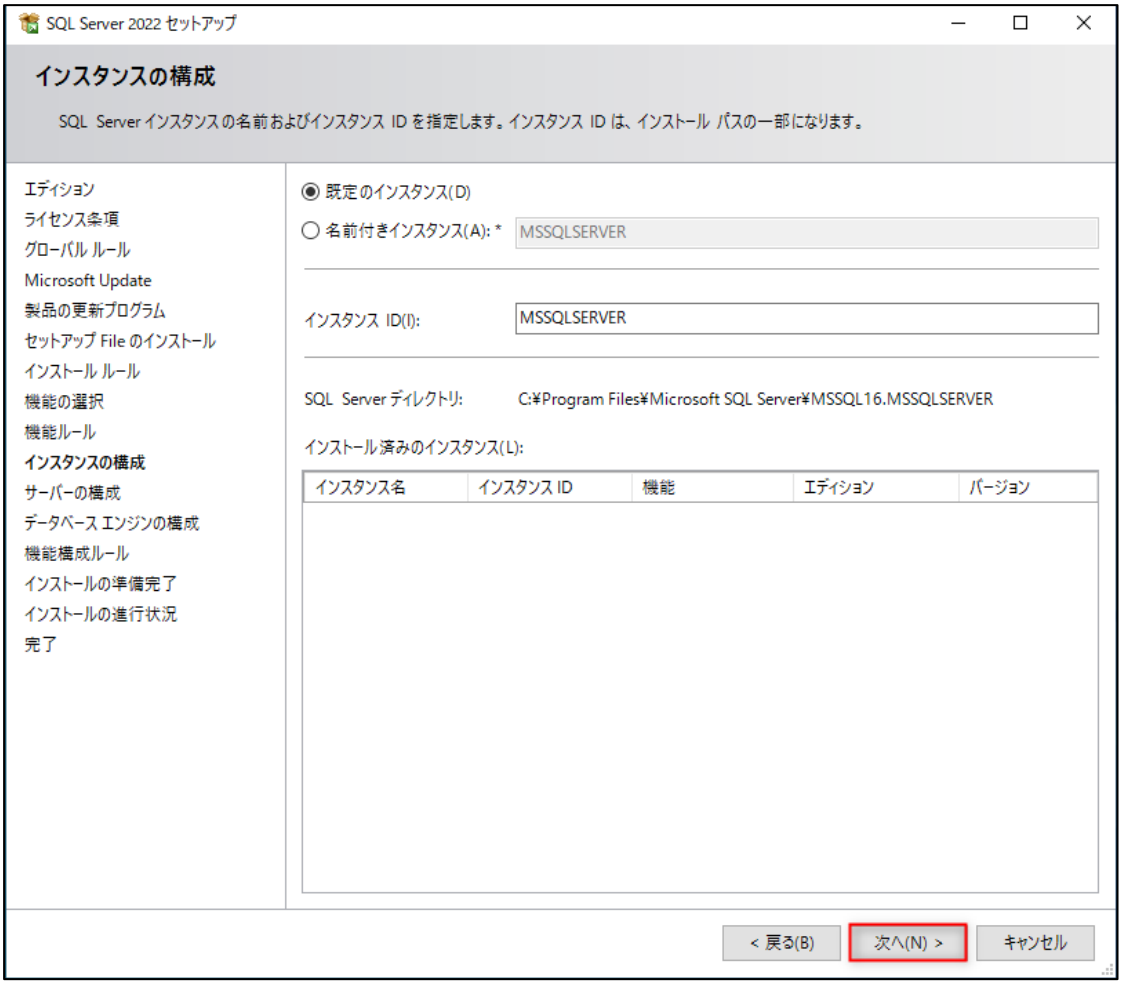
   ・データベース エンジン サービス

   ・検索のためのフルテキスト抽出とセマンティック抽出

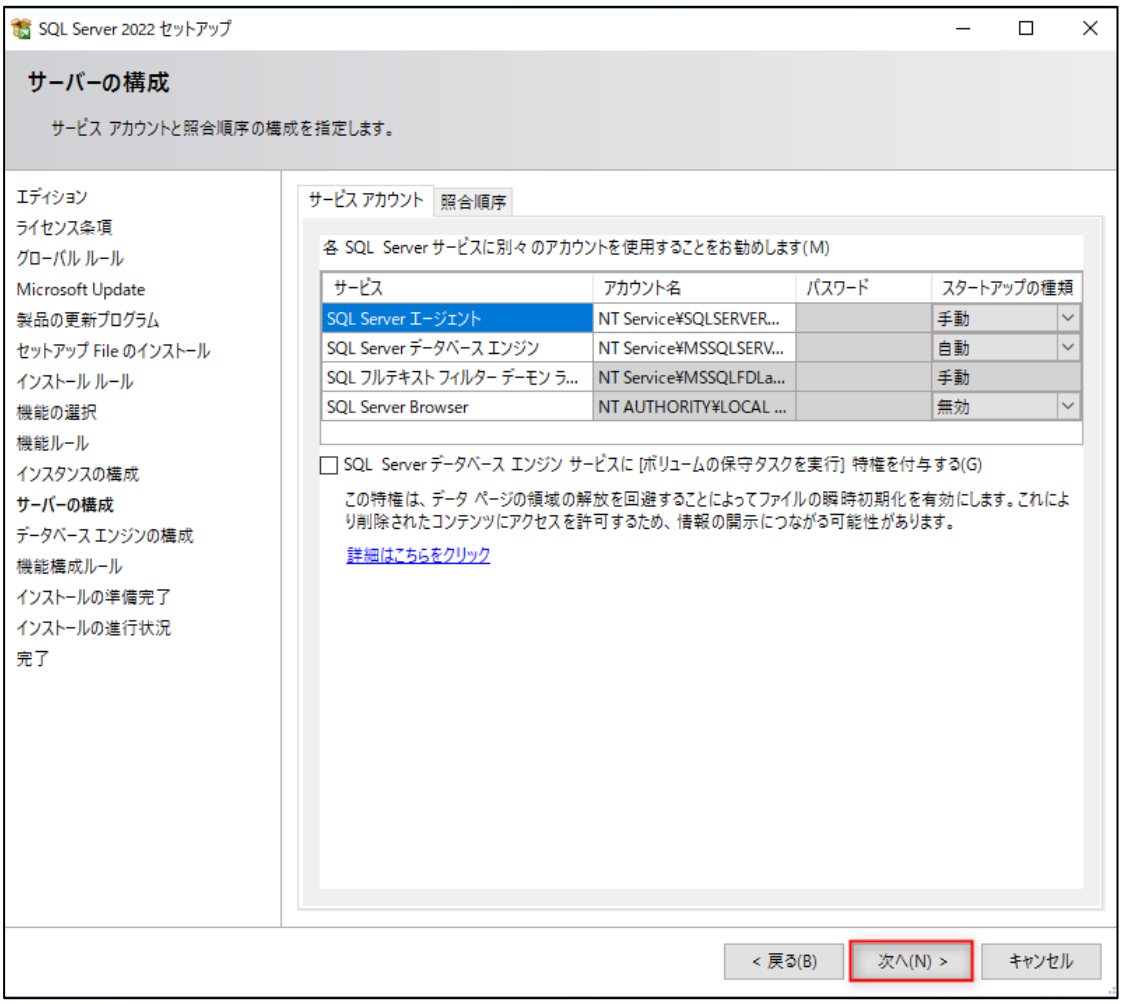
   ※ 「管理ツール」が必要な場合は、別途インストールを行ってください。



10. [インスタンスの構成] 画面が表示されます。名前付きインスタンスを使用するなど、必要に応じて、設定を変更してください。以下ではデフォルトの設定を使用しています。[次へ (N)] ボタンをクリックします。

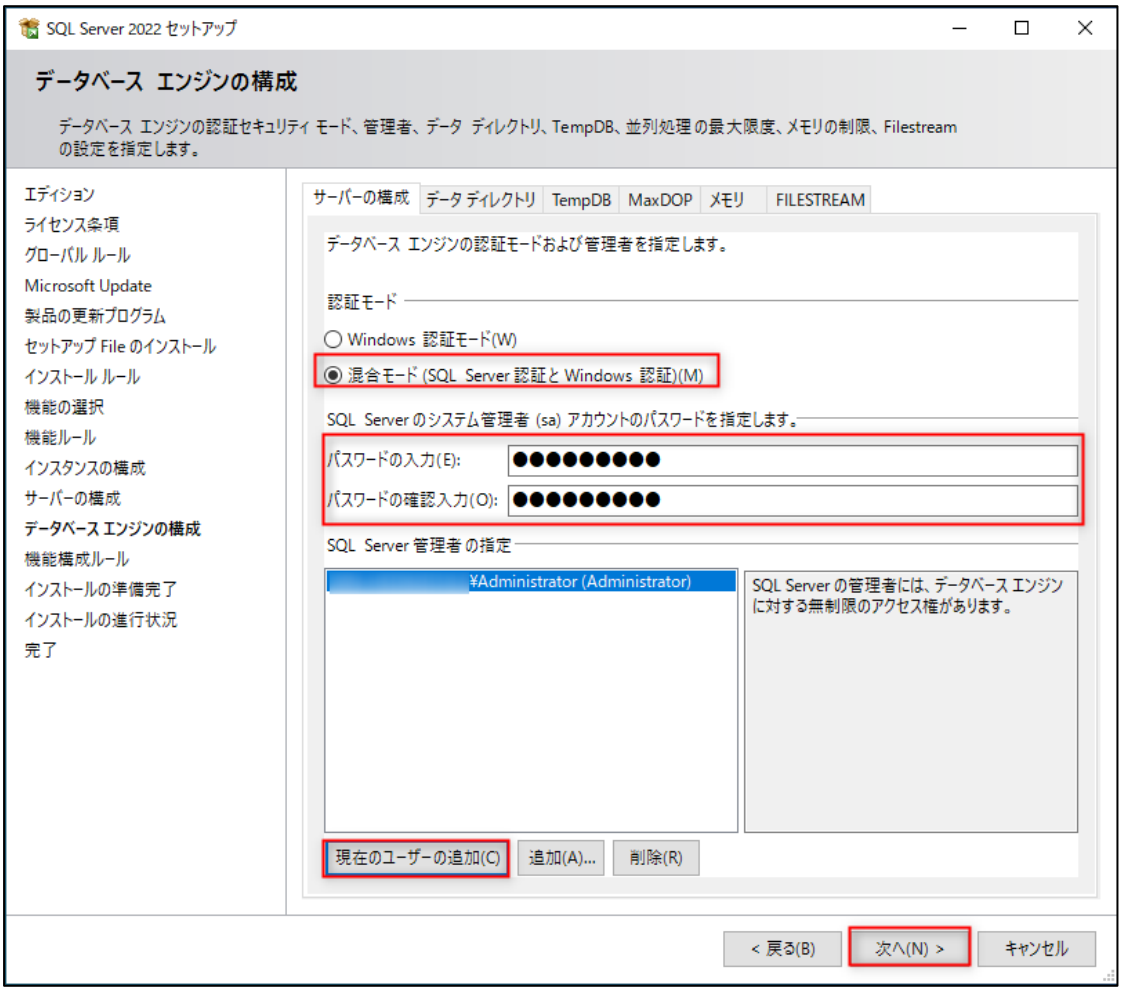


11. [サーバーの構成] 画面が表示されます。ここではデフォルトのアカウント設定を使用します。[次へ (N)] ボタンをクリックします。



12. [データベース エンジンの構成] 画面が表示されます。ここでは SQL Server の [認証モード] で「混合モード(M)(SQL Server 認証と Windows 認証)」を選択し、ビルトイン SQL Server システム管理者アカウント (sa) のパスワードを指定します（認証モードはセットアップ後に変更することが可能です)。

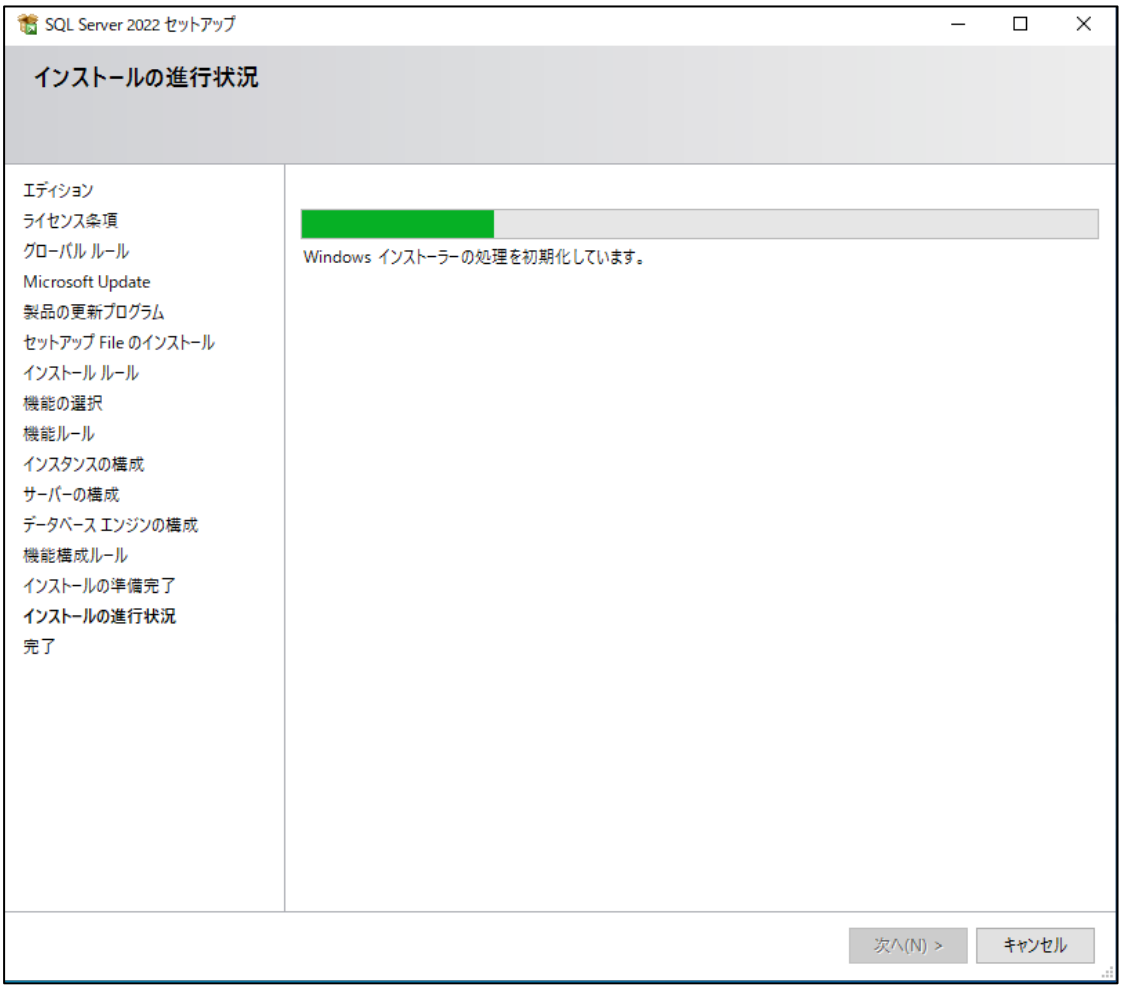
    [現在のユーザーの追加] ボタンをクリックし、現在ログインしているユーザーを SQL Server インスタンスの管理者として追加します。 [次へ (N)] ボタンをクリックします。



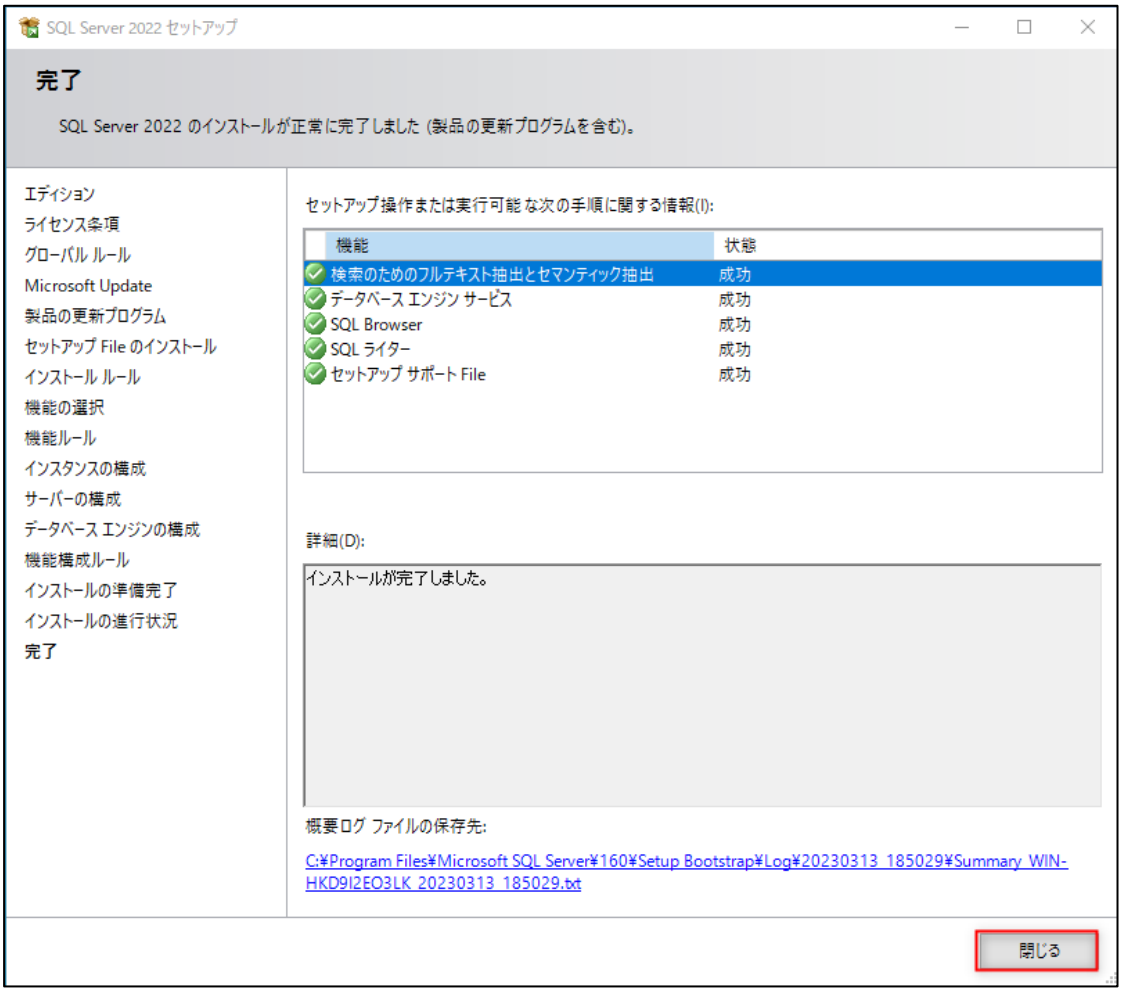
13. [インストールの準備完了] 画面が表示されます。インストール設定のサマリが表示されます。内容を確認し問題がなければ [インストール (I)] ボタンをクリックします。



14. SQL Server ソフトウェアのインストールが開始されます。



15. [完了] 画面が表示されます。セットアップが正常に完了したことを確認し、[閉じる] ボタンをクリックしてインストールを終了します。



## SQL Server へのサービス パック/ 更新プログラムの適用

必要であれば次の手順を実行する前に SQL Server に対して必要な サービス パックもしくは更新プログラムの適用を行います。エンタープライズ ジオデータベース がサポートする SQL Server のバージョンについては エンタープライズ ジオデータベース の動作環境を確認してください。

※最新のエンタープライズ ジオデータベースの動作環境については下記を参照してください。

- ArcGIS Enterprise 動作環境ページ：データベース / ジオデータベース
  https://www.esrij.com/products/arcgis-enterprise/environments/

SQL Server のサービスパックおよび更新プログラムの入手方法および適用方法については、Microsoft のページをご確認ください。

# DBMS クライアントの設定

## ODBC Driver のインストール

ArcGIS Pro から SQL Server に接続するには、ArcGIS Pro がインストールされているマシンに ODBC Driver がセットアップされている必要があります。

My Esri では、以下の ODBC Driver を提供しておりますので、適切なもの選択しダウンロードしてください。

- My Esri

  https://my.esri.com/#/

【提供されているファイル一覧】

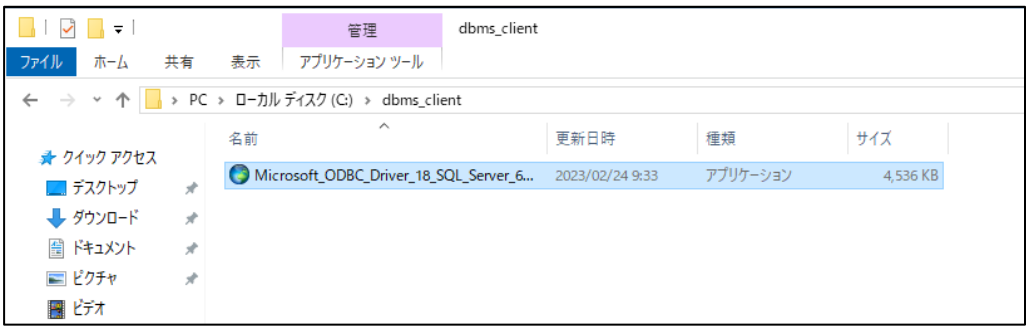
- Microsoft_ODBC_Driver_131_SQL_Server_64bit_167177.exe
- Microsoft_ODBC_Driver_17_SQL_Server_64bit_185619.exe
- Microsoft_ODBC_Driver_18_SQL_Server_64bit_185620.exe ※本ガイドで使用

【注意】

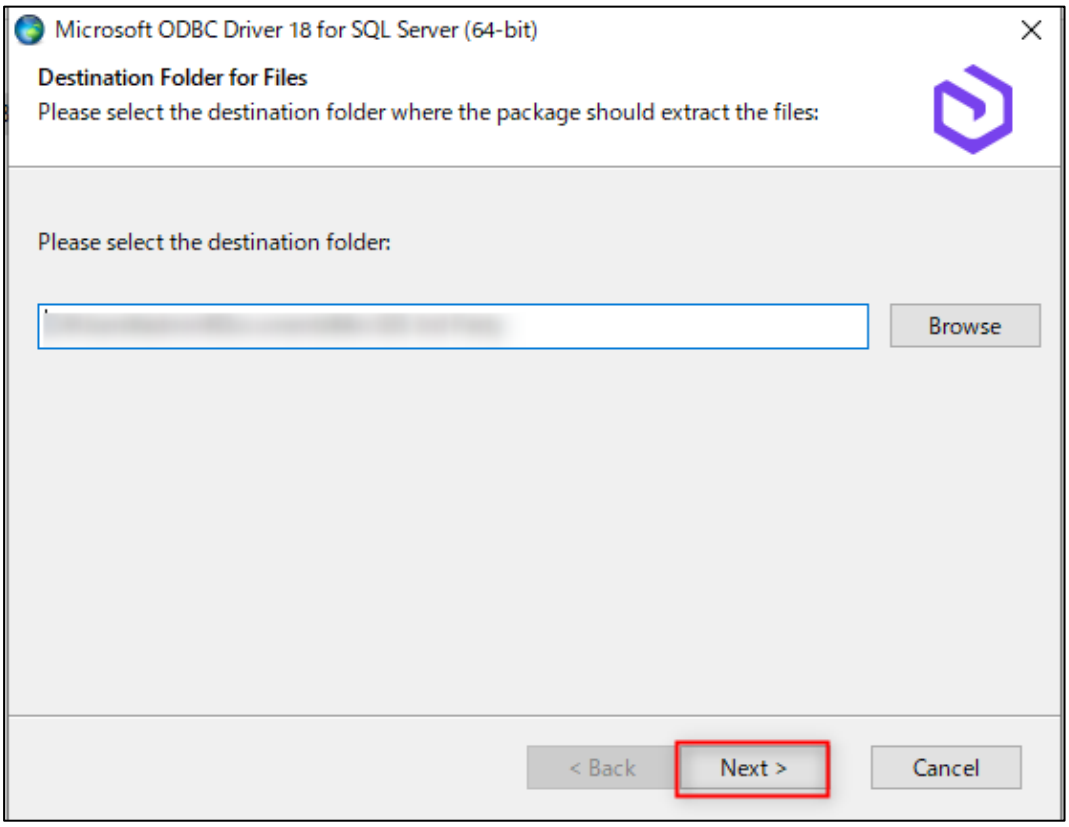
接続先の SQL Server よりも上位バージョンかつ適切なアーキテクチャの ODBC Driver をインストールしてください。

以下では、 ODBC Driver のセットアップ手順を説明します。

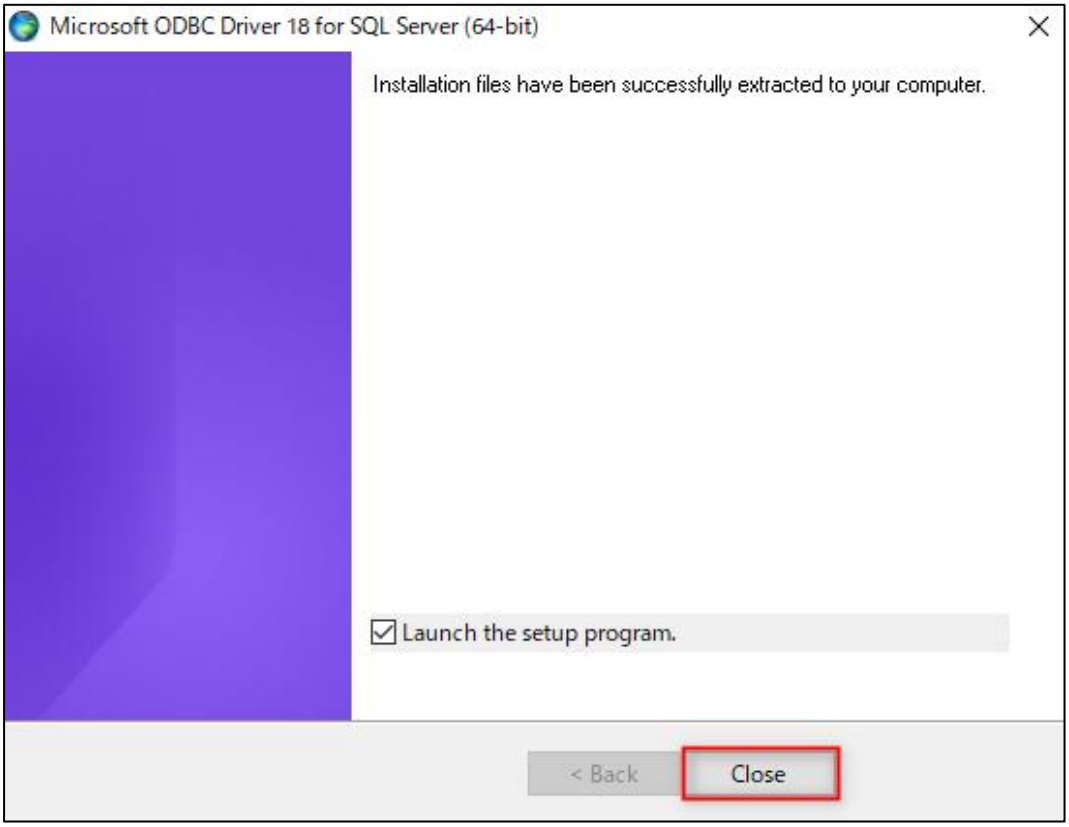
1. My Esri のダウンロードページから、Microsoft_ODBC_Driver_18_SQL_Server_64bit_185620.exe をクライアントマシンの任意のディレクトリにダウンロードし、実行します。



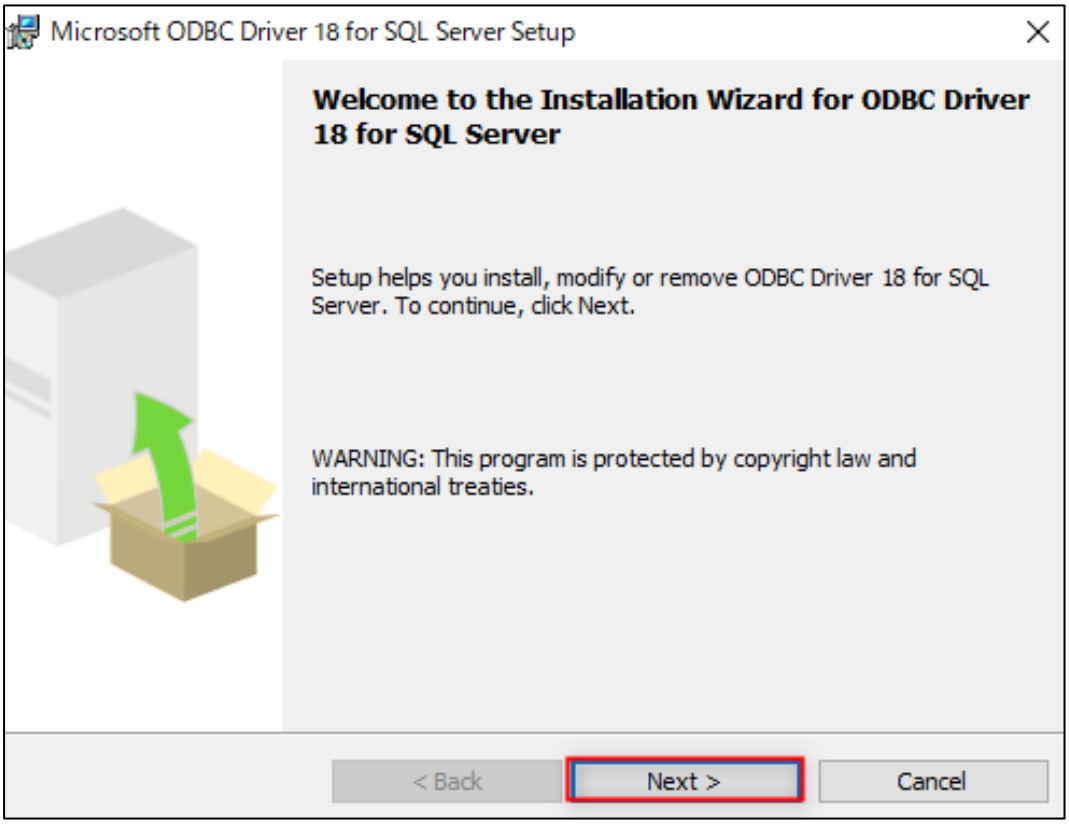

2. ODBC Driver のインストーラーを配置するディレクトリを指定し、[Next >] をクリックします。以下の例ではデフォルトのディレクトリに配置します。



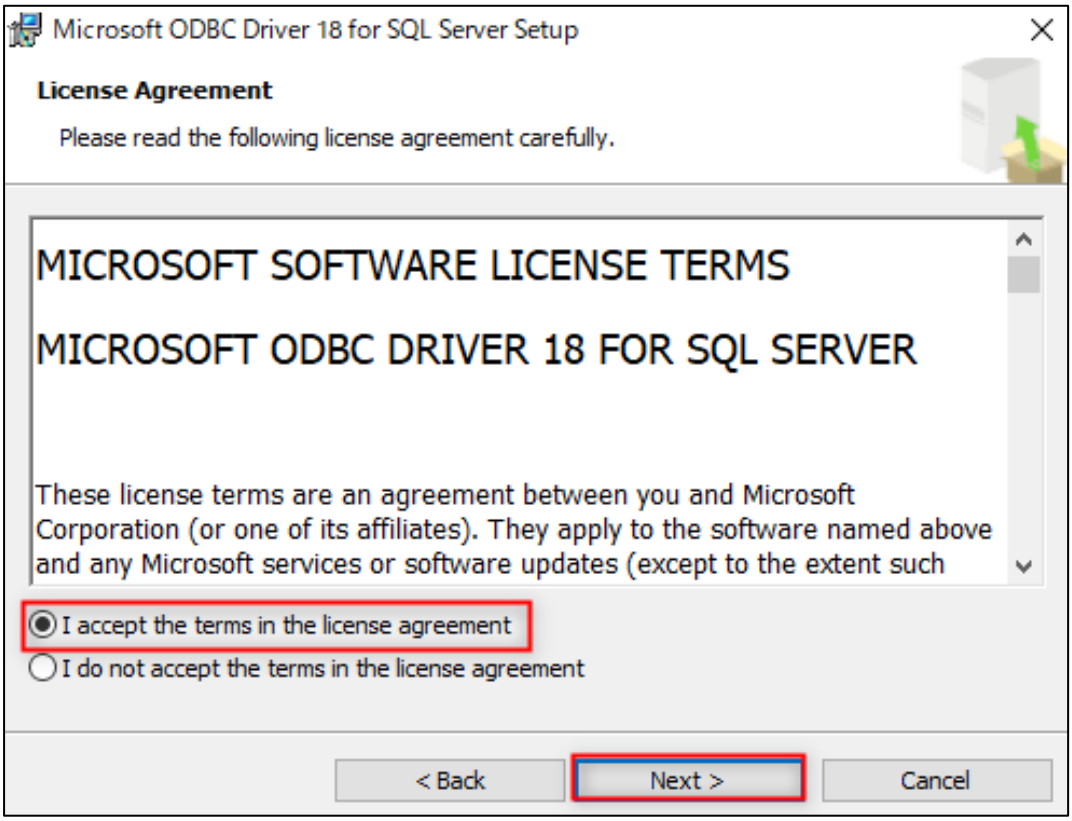
3. [Launch the setup program] にチェックが入っていることを確認して、[Close] をクリックします。



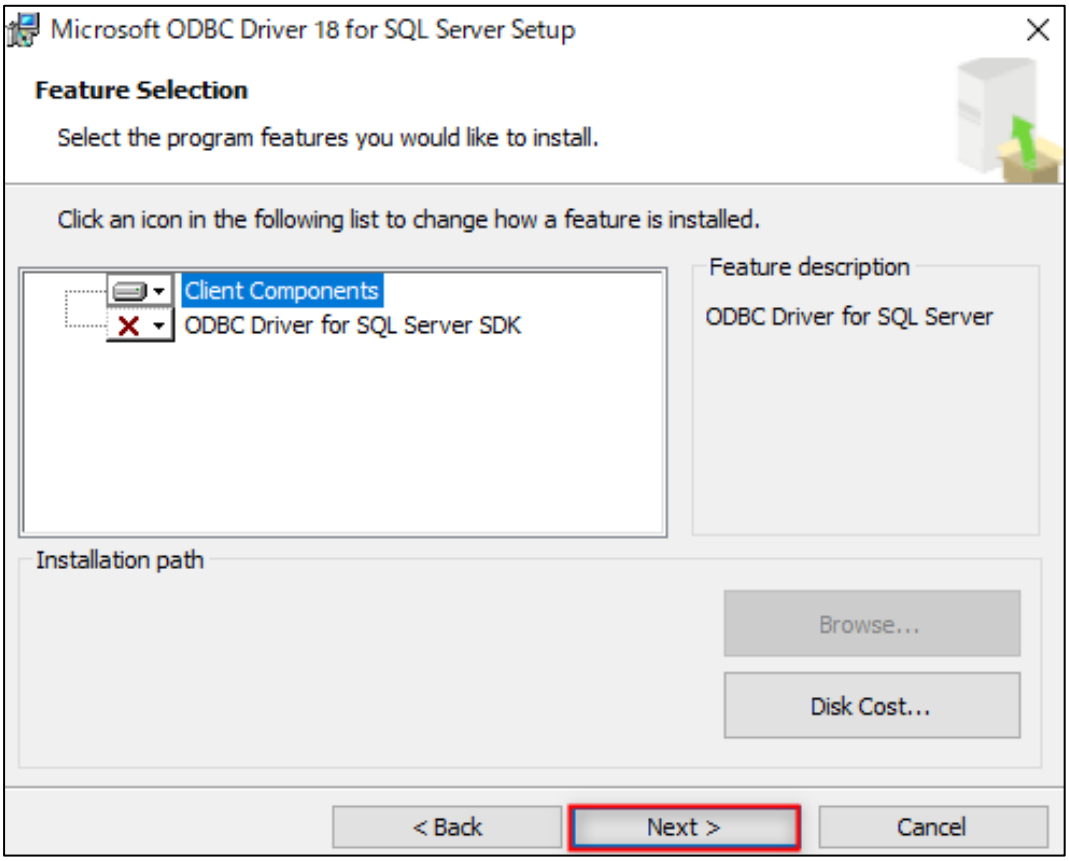
4. ODBC Driver のセットアップを開始します。[Next >] ボタンをクリックします。



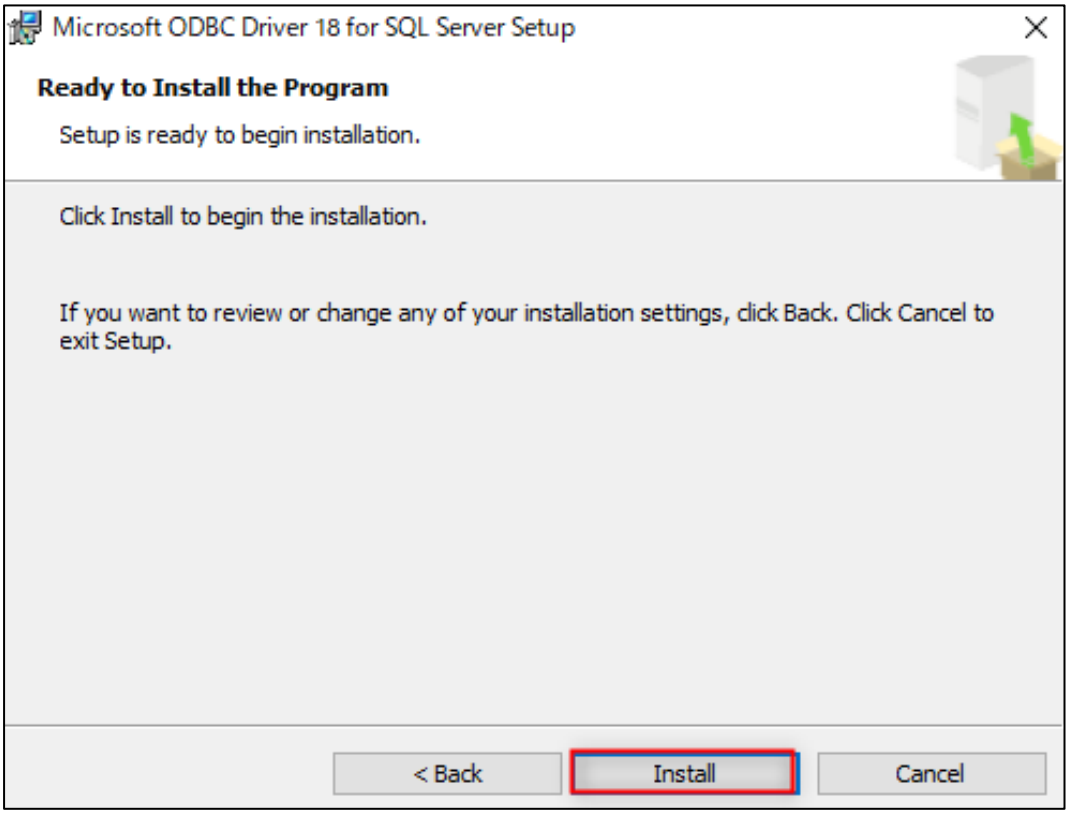
5. ライセンス条項に同意する場合は、[I accept the terms in the license agreement] を選択し、[Next >] ボタンをクリックします。



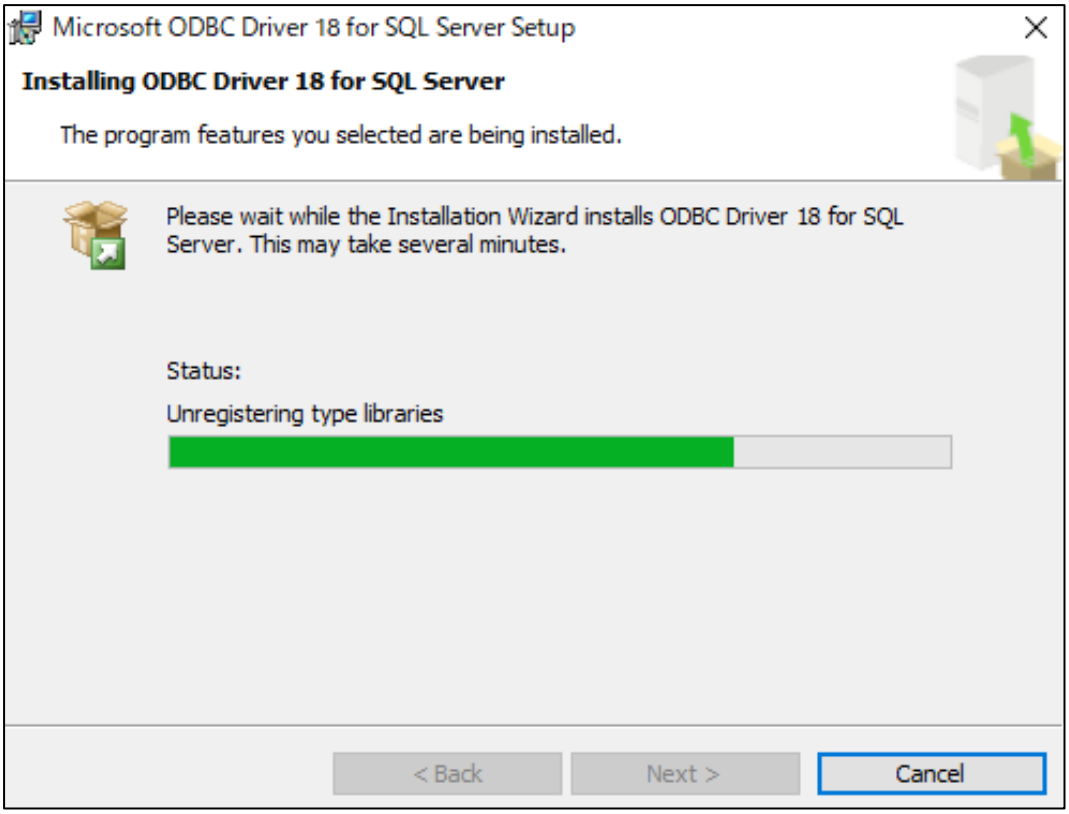
6. [Feature Selection] 画面が表示されます。ここではデフォルトの設定のまま [Next >] ボタンをクリックします。



7. [Ready to Install the program] 画面が表示されます。[Install] ボタンをクリックします。




8. インストールが実行されます。



9. [Completing the ODBC Driver 18 for SQL Server installation] 画面が表示されます。インストールが正常に実行されたことを確認して、[Finish] ボタンをクリックし、インストールを終了します。



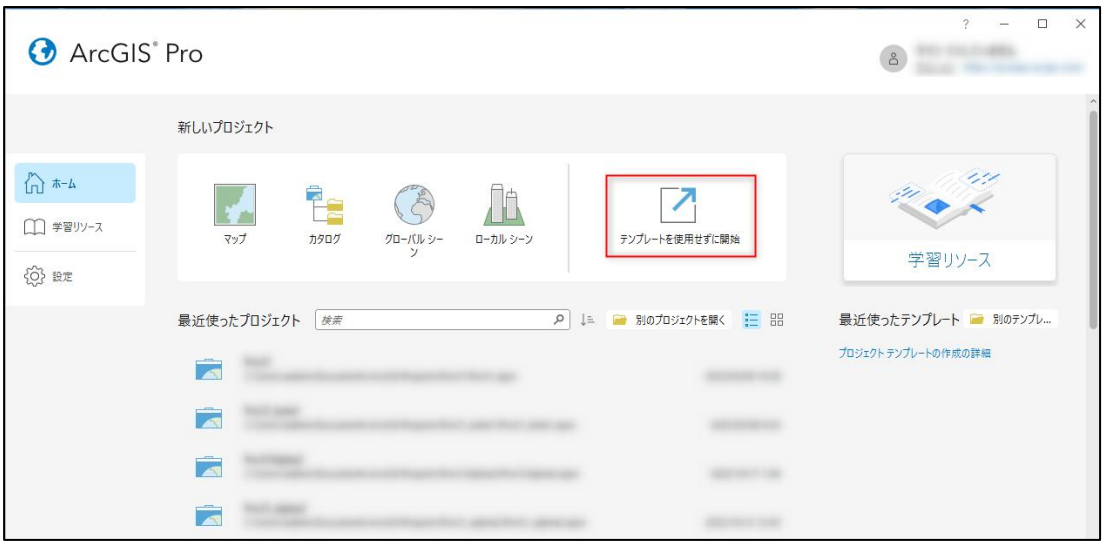
# エンタープライズジオデータベースの作成

ArcGIS Pro を使用して、SQL Server にエンタープライズ ジオデータベースを作成する手順を説明します。

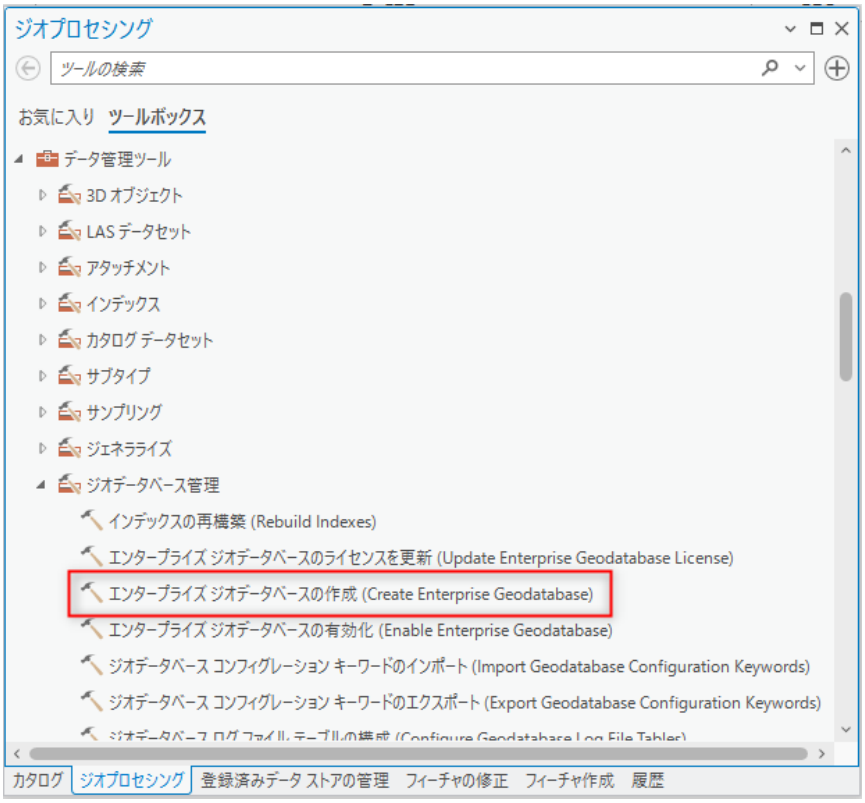
なお、DBMS サーバーと ArcGIS Pro がインストールされているクライアントマシンが異なる場合、DBMS サーバー上の SQL Server インスタンスに TCP/IP 接続が行えるよう設定されている必要があります。

## SQL Server エンタープライズ ジオデータベースの作成

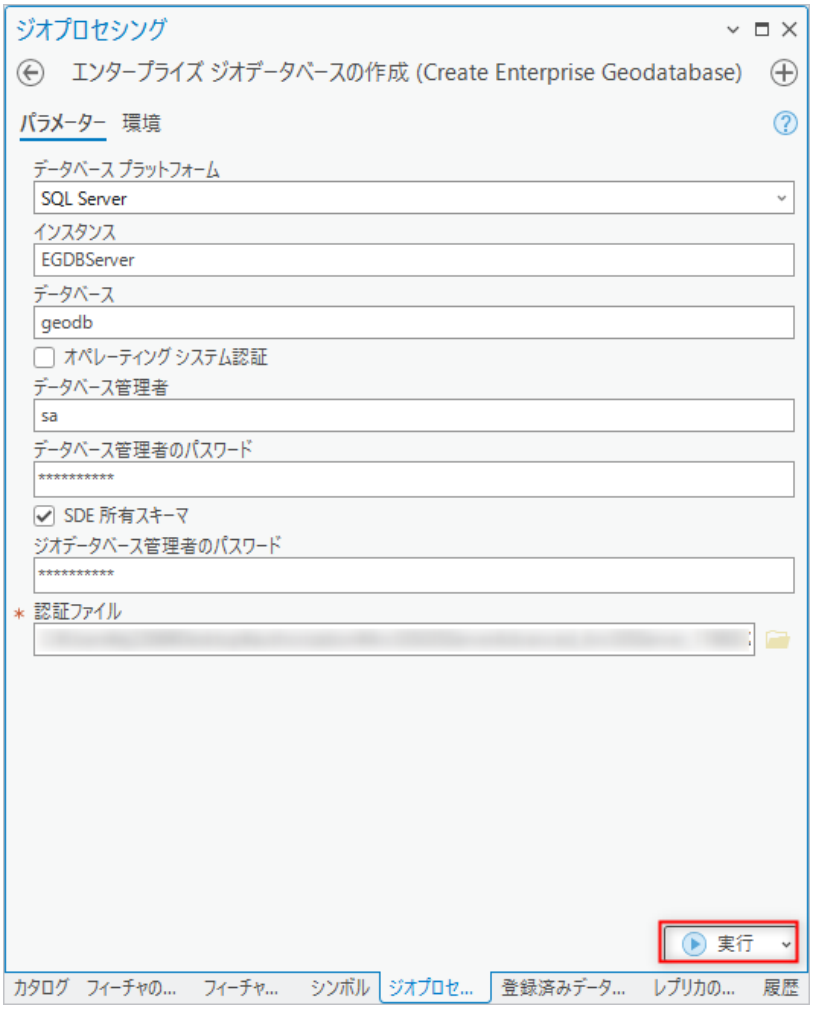
1. クライアントマシンで Windows の [スタート] メニュー → [すべてのアプリ] → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックし、ArcGIS Pro を起動し、任意のプロジェクトを開くか、[テンプレートを使用せずに開始（後で保存できます）] をクリックします。



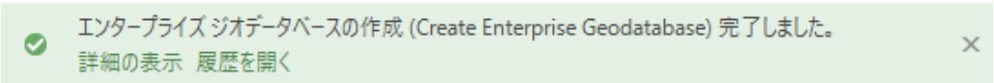
2. [解析] タブの [ツール] をクリックし、[ジオプロセシング] を表示します。[データ管理 ツール] → [ジオデータベース管理] → [エンタープライズ ジオデータベースの作成 (Create Enterprise Geodatabase)] をクリックします。



3. [エンタープライズ ジオデータベースの作成 (Create Enterprise Geodatabase)] ジオプロセシング ツールが起動します。
[データベース プラットフォーム] で [SQL Server] を選択します。[インスタンス] に SQL Server をインストールした DBMS サーバーのホスト名 （または IP アドレス） を入力します。[データベース （オプション）] にジオデータベースとして作成するデータベース名を入力します。（ここでは「geodb」という名前で作成します。）[オペレーティング システム認証（オプション）] のチェックを外し、[データベース管理者（オプション）] に管理者権限を持つ「sa」ユーザーを指定し、sa ユーザーのパスワードを入力します。
また、[SDE 所有スキーマ（オプション）] のチェックを外します。[認証ファイル] の右のボタンをクリックし、ArcGIS Enterprise の認証ファイルを選択します。[実行] ボタンをクリックします。
※認証ファイルは、ArcGIS Enterprise (ArcGIS GIS Server) が既にセットアップ済みの場合は、%ProgramFiles%¥ESRI¥License11.0 ¥sysgen フォルダーの keycodes ファイルを指定します。
※ArcGIS Enterprise をセットアップしない場合は、以下のドキュメントを参考に認証ファイルを取得してください。
https://support.esrij.com/knowledge/24388




4. エンタープライズ ジオデータベースが正常に作成された場合は [エンタープライズ ジオデータベース (Create Enterprise Geodatabase) 完了しました。] が表示されます。



# 動作確認 (ユーザーの作成およびデータ格納)

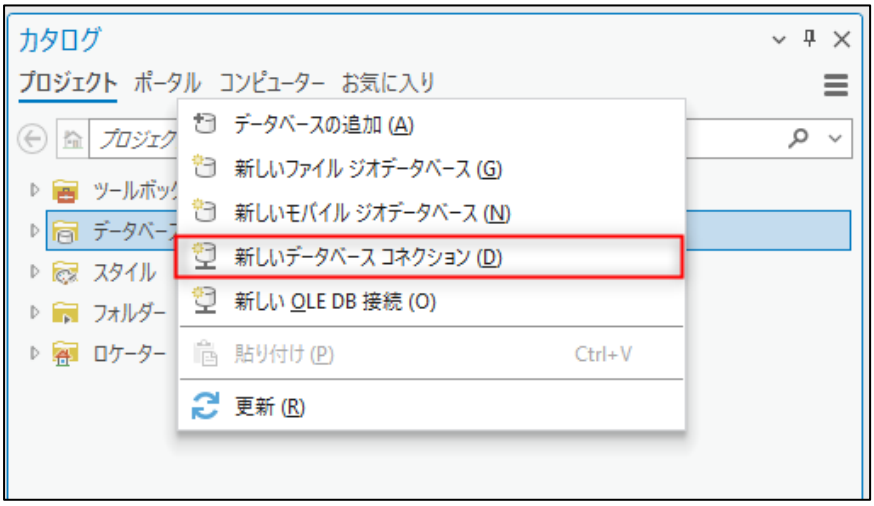
SQL Server に作成されたエンタープライズ ジオデータベースの動作確認を行うため、データベースにユーザーを作成し、データをインポートする手順を示します。

【注意】

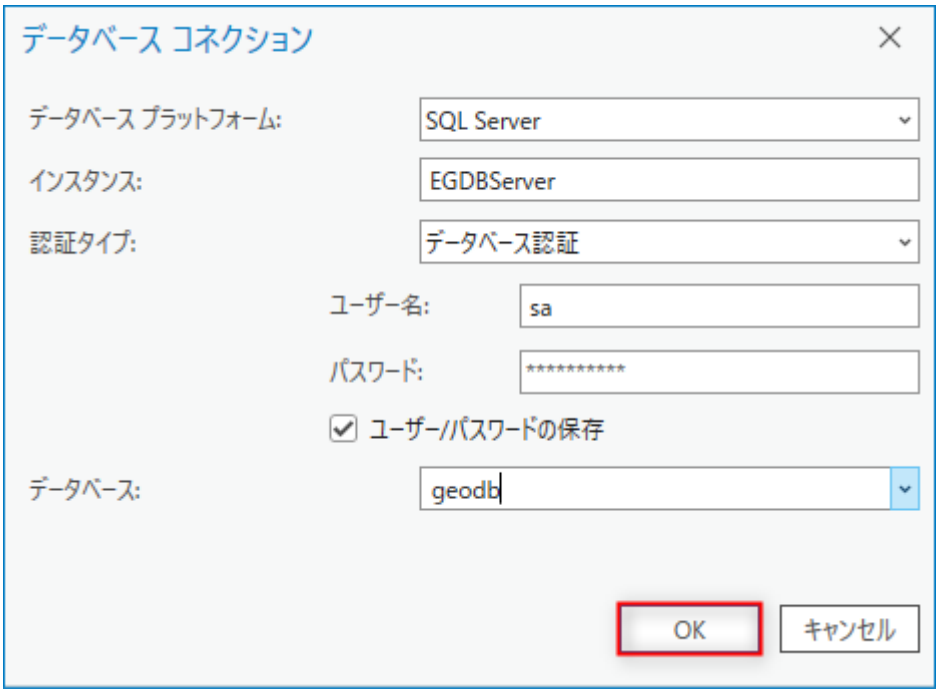
この手順は必ずしも行う必要はありません。またこの手順で作成されるユーザーの用途は動作確認のみを意図しています。実運用のためのユーザーを作成する際には必ず SQL Server および ArcGIS のドキュメントを参照して、適切なデータの配置や権限設定等を行う必要があります。

## SQL Server エンタープライズ ジオデータベースへの接続

1. クライアントマシンで Windows の [スタート] メニュー → [すべてのアプリ] → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックして ArcGIS Pro を起動し、ArcGIS Pro を起動し、任意のプロジェクトを開くか、[テンプレートを使用せずに開始（後で保存できます）] をクリックします。
2. [カタログ] ウィンドウの [プロジェクト] → [データベース] を右クリックし、[新しいデータベース コネクション] を選択します。



3. [データベース コネクション] ダイアログボックスが表示されます。
[データベース プラットフォーム] から「SQL Server」を選択し、[インスタンス] に SQL Server のインストールを行った DBMS サーバーのホスト名 (または IP アドレス) を入力します。[認証タイプ] に「データベース認証」を選択します。 [ユーザー名] に sa を入力し、[パスワード] に sa ユーザーのパスワードを入力します。[OK] をクリックします。正しい接続情報が設定されている場合 [データベース] リストボックスに使用可能なデータベースがリスト表示されます。ここでは、これまでの手順で作成した「geodb」を選択し [OK] をクリックします。




[データベース] 下に作成されたデータベース コネクションが作成されれば接続完了です。

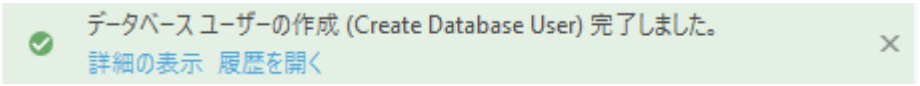
4. 次のユーザーの作成を行わない場合は、プロジェクトを保存し、ArcGIS Pro を終了します。

## SQL Server ユーザーの作成 (データベース ユーザーの作成)

[エンタープライズ ジオデータベースの作成] ジオプロセシング ツールの実行により ジオデータベースの管理ユーザーが設定されますが、エンタープライズ ジオデータベースの管理ユーザー以外に 1 人以上の GIS データを扱う SQL Server ユーザーを作成することが推奨されます。

1. クライアント マシンで ArcGIS Pro が起動していない場合は、Windows の [スタート] メニュー → [すべてのアプリ] → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックして ArcGIS Pro を起動します。前の手順で管理者ユーザーとして接続する際に使用したプロジェクトを開きます。

2. [解析] タブの [ツール] をクリックし、[ジオプロセシング] を表示します。[データ管理 ツール] → [ジオデータベース管理] → [データベース ユーザーの作成（Create Database User）] をクリックします。
3. [データベース ユーザーの作成 (Create Database User)] ジオプロセシング ツールが起動します。[入力データベース接続] にデータベース管理者のデータベース コネクション（本ガイドでは EGDBServer.sde）を指定し、[データベース ユーザー] に作成するユーザー名、[データベース ユーザー パスワード（オプション）] に作成するユーザーのパスワードを入力します。以下では、user1 ユーザーを作成するよう設定しています。また、[ロール] はここでは設定しません。[実行] をクリックします。
4. ツールが実行され、ユーザーが作成されます。




5. 次の手順に進まない場合は、プロジェクトを保存して、ArcGIS Pro を終了します。

## データの格納

以下では上記で作成したユーザーを使用して エンタープライズ ジオデータベースに接続し、シェープファイルをインポートする手順を説明します。

この手順では ESRI ジャパンが無償で配布している全国市区町村界データをインポートします。以下のリンクよりデータをダウンロードできます。

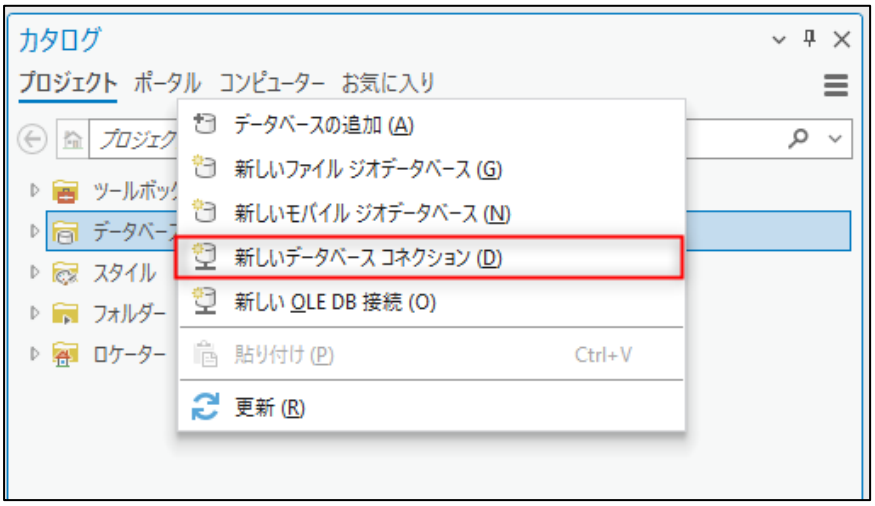
ダウンロードページより、japan_ver84.zip をダウンロードして任意のディレクトリに解凍してください。

- ESRI ジャパン：全国市区町村界データ

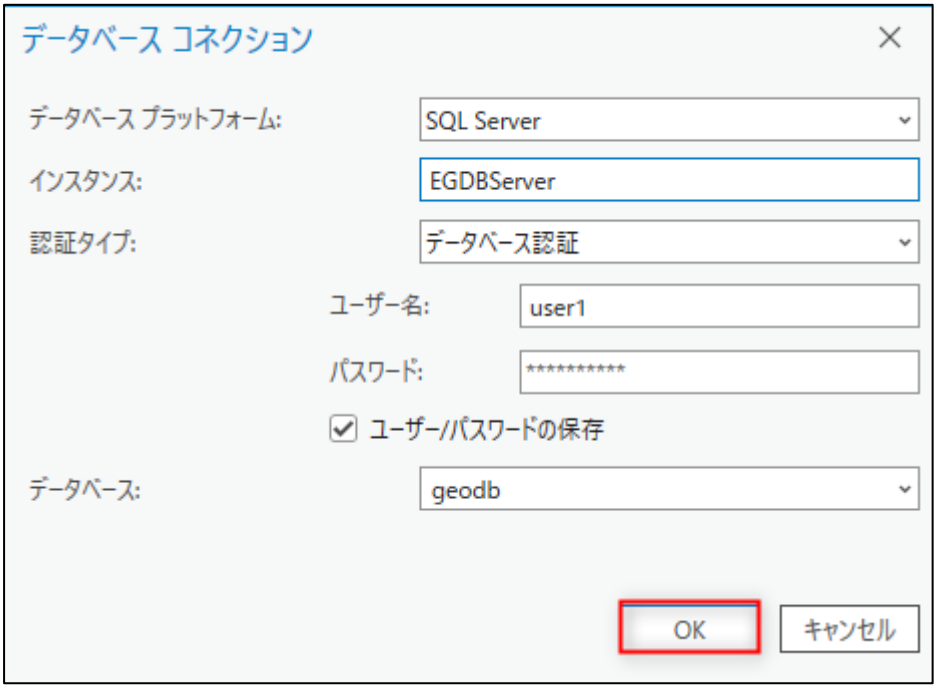
https://www.esrij.com/products/data/japan-shp/

1. クライアントマシンで ArcGIS Pro が起動していない場合は、Windows の [スタート] メニュー → [すべてのアプリ] → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックし、ArcGIS Pro を起動し、任意のプロジェクトを開くか、[テンプレートを使用せずに開始（後で保存できます）] をクリックします。

2. [カタログ] ウィンドウの [プロジェクト] → [データベース] を右クリックし、[新しいデータベース コネクション] を選択します




3. データベース コネクションにて、[データベース プラットフォーム] から「SQL Server」を選択し、[インスタンス] に SQL Server のインストールを行った DBMS サーバーのホスト名 (または IP アドレス) を入力します。[認証タイプ] に「データベース認証」を選択します。[ユーザー名] に user1 ユーザー、[パスワード] に user1 ユーザーのパスワードを指定し、[OK] をクリックします。

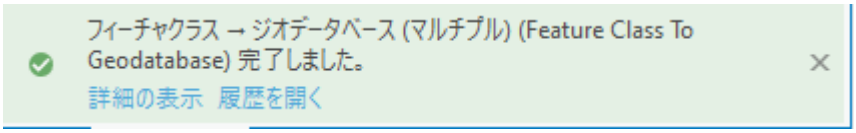



4. 作成された接続ファイルを右クリックし、[インポート] → [複数のフィーチャクラス]をクリックします。

5. [フィーチャクラス → ジオデータベース (マルチプル) (Feature Class To Geodatabase)] ジオプロセシング ツールが起動します。[入力フィーチャ] にインポートするシェープファイルのパス名を指定して [実行] をクリックします。




バックグラウンドでインポート処理が実行されます。処理が完了するとデスクトップ画面の右下に下記のように処理が正常終了したことを通知するメッセージが表示され マップにデータが追加されます。




6. 作成したフィーチャクラスを表示し、データが正しく参照できることを確認します。以上で動作確認は終了です。

# インストール済みの環境のアップグレード

インストール済みの SQL Server のジオデータベースをアップグレードする方法を説明します。

- ArcGIS クライアントのアップグレード
- エンタープライズ ジオデータベースのアップグレード

## ArcGIS クライアントのアップグレード

エンタープライズ ジオデータベースをアップグレードするには、まず、エンタープライズ ジオデータベースに接続する ArcGIS クライアントをアップグレードし、その後エンタープライズ ジオデータベースをアップグレードします。

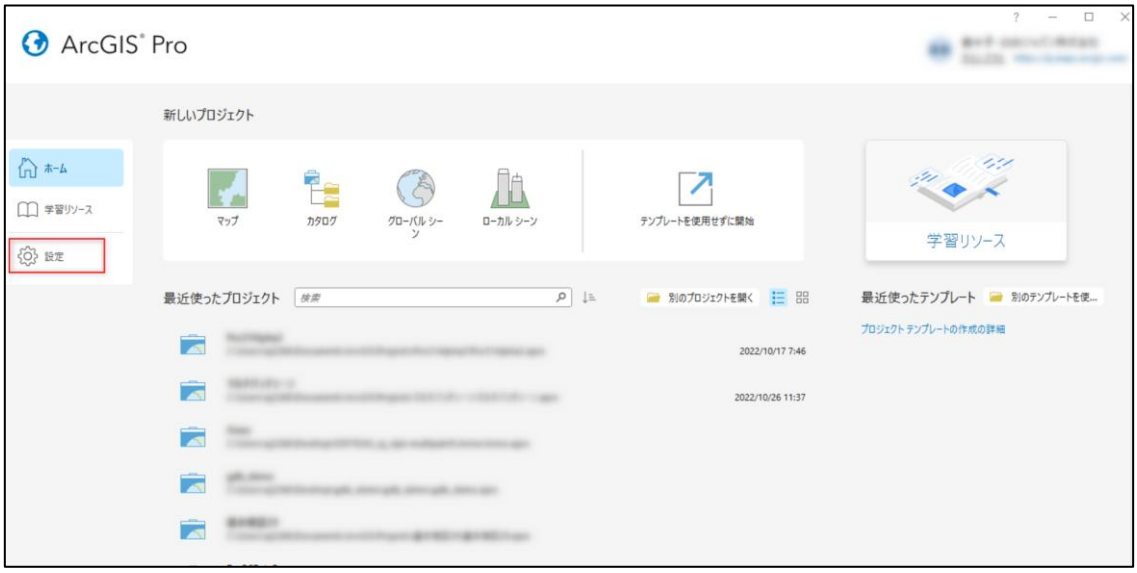
## SQL Server エンタープライズ ジオデータベースのアップグレード

ArcGIS ソフトウェアと同様にジオデータベースにもバージョンやパッチレベルが存在します。ジオデータベースは ArcGIS ソフトウェアをアップグレードしただけでは、アップグレードに含まれるジオデータベースに関する不具合の修正などが反映されず、最新の状態にはならないため、アップグレード後、(必要に応じて) エンタープライズ ジオデータベースのアップグレードを行ってジオデータベースを最新の状態にします。

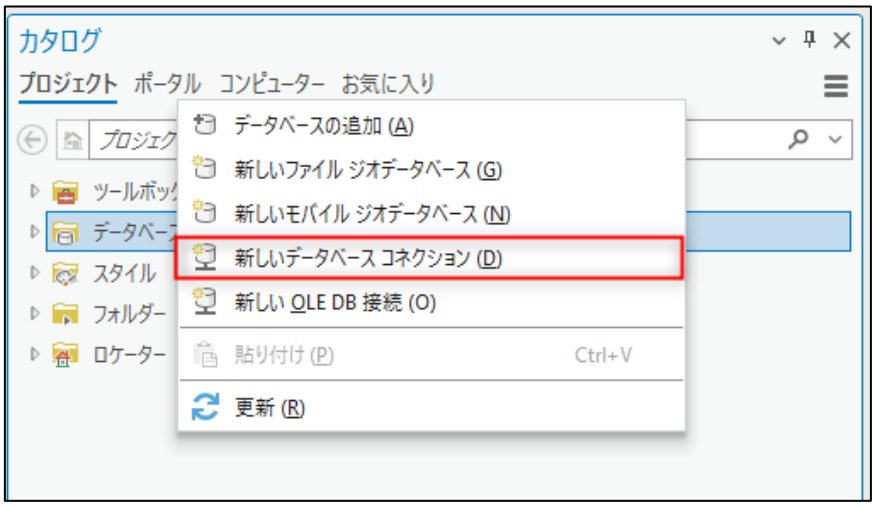
以下では、ArcGIS Pro を使用してエンタープライズ ジオデータベースをアップグレードする手順を説明します。**なお、エンタープライズ ジオデータベースのアップグレードを行う前にデータベースのバックアップを取得してください。**

1. クライアントマシンで Windows の [スタート] メニュー → [すべてのアプリ] → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックし、ArcGIS Pro を起動します。

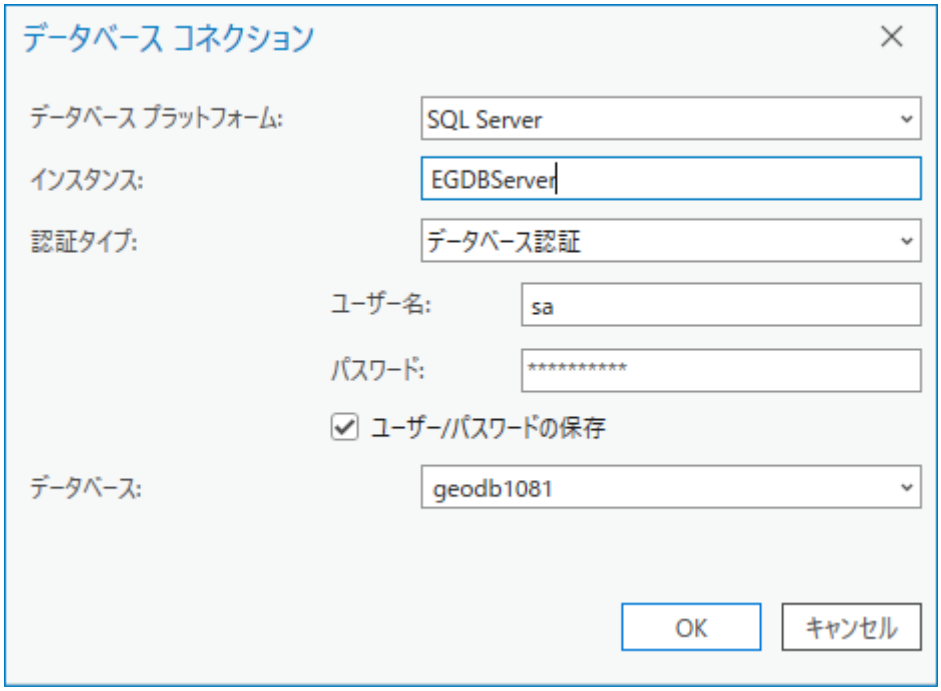
2. 画面左下の [設定] をクリックします。(既に ArcGIS Pro を使用中の場合は、[プロジェクト] タブをクリックします)。[バージョン情報] を選択し、ArcGIS Pro のバージョンを確認します。この製品情報に表記された ArcGIS Pro のバージョンに対応するジオデータベースのバージョンにアップグレードすることができます。本ガイドでは ArcGIS Pro 3.1 を使用します。



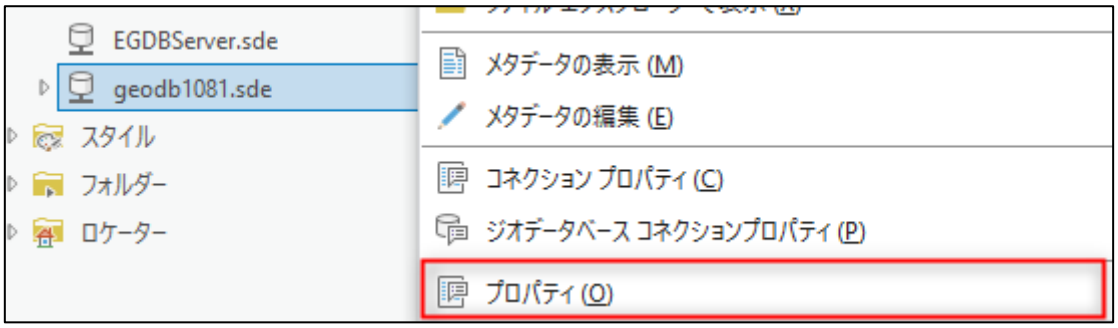

3. エンタープライズ ジオデータベースのアップグレードが必要であるかどうか確認します。任意のプロジェクトを開き、[カタログ] ウィンドウの [データベース] を展開して、ジオデータベースの管理者として接続します。ジオデータベース管理者のデータベース コネクションがない場合は、[データベース] を右クリックし、[新しいデータベース コネクション] を選択します。



4. [データベース コネクション] ダイアログボックスが表示されます。
**[データベース プラットフォーム]** から「SQL Server」を選択し、**[インスタンス]** に DBMS サーバーのホスト名 (または IP アドレス) を入力します。**[認証タイプ]** に「データベース認証」を選択します。ここではジオデータベースのアップグレードを行うため、**[ユーザー名]** に sa を入力し、[パスワード] に sa ユーザーのパスワードを入力します。[OK] をクリックします。

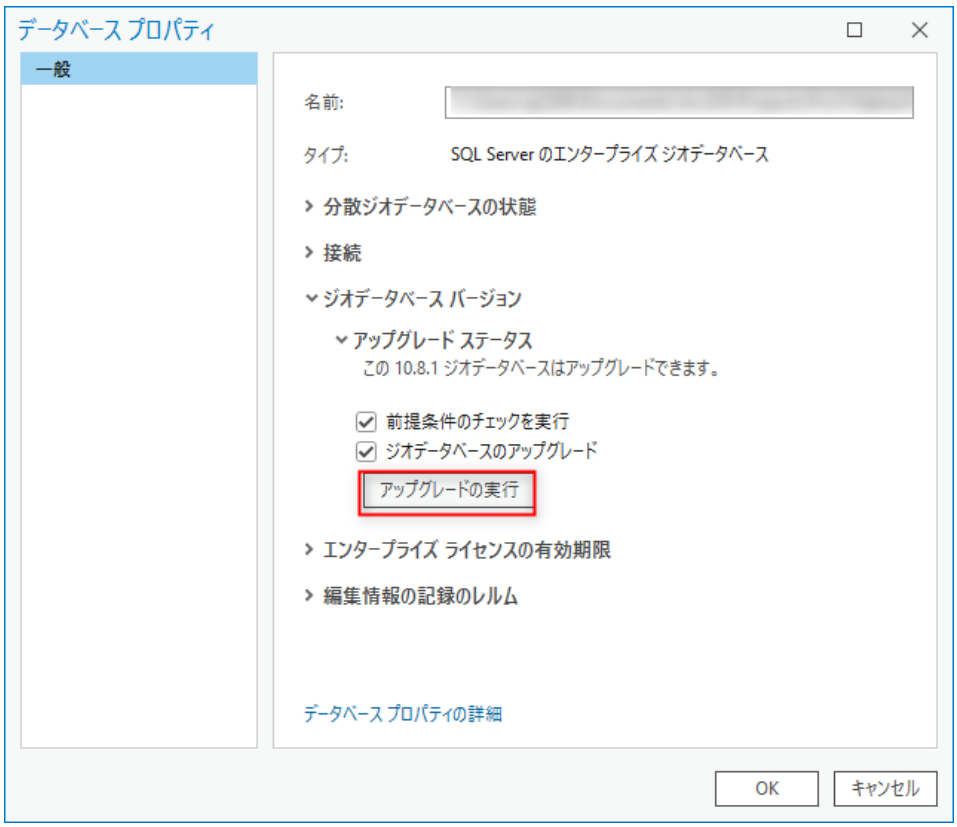



5. [データベース] 下に作成されたデータベース コネクション (以下の例では geodb1081.sde) を右クリックし [プロパティ] を選択します。



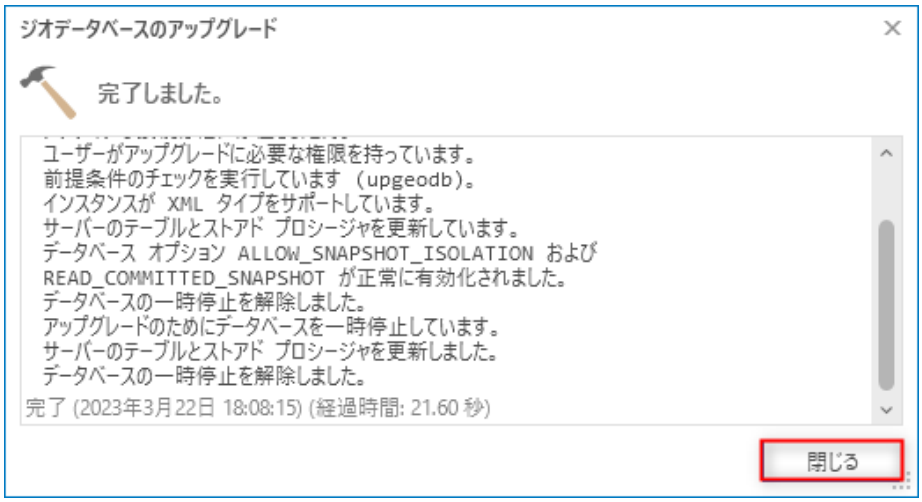
6. [データベース プロパティ] の [アップグレード ステータス] で [アップグレードの実行] ボタンが有効になっていることを確認します。有効な場合は、下記の ArcGIS ヘルプに記載されている内容に従って準備を完了し、[アップグレードの実行] ボタンをクリックします。

・SQL Server のジオデータベースをアップグレードする準備
https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/latest/help/data/geodatabases/manage-sql-server/upgrade-geodatabase-sqlserver.htm




※パッチの種類によっては [アップグレードの実行] ボタンがグレーアウトして無効な場合があります。**[アップグレードの実行] ボタンが無効となっている場合は、ジオデータベースのアップグレードは必要ありません。**

7. ジオデータベースのアップグレードが完了したことを確認し、[閉じる] をクリックします。



# FAQ

## エンタープライズ ジオデータベースの作成に必要な製品（ライセンス）は何ですか？

エンタープライズ ジオデータベースの構築には、ArcGIS Enterprise または ArcGIS GIS Server Basic のライセンスが必要です。

また、構築する際に必要なクライアント製品として、以下のいずれかの製品が必要です。

- ArcGIS Desktop Standard / ArcGIS Desktop Advanced
- ArcGIS Enterprise Standard (ArcGIS GIS Server Standard)/
  ArcGIS Enterprise Advanced (ArcGIS GIS Server Advanced)

詳細は、下記のページの FAQ をご参照ください。

ジオデータベース - FAQ (https://www.esrij.com/products/geodatabase/faq/)

- マルチユーザー ジオデータベースの構築に必要なライセンスは何ですか？
- ArcGIS 10.1 以降でマルチユーザー (ArcSDE) ジオデータベースを使用するのに必要な製品は何ですか？

## ArcGIS GIS Server Basic で使用可能な機能はなんですか？

ArcGIS GIS Server Basic をお持ちの場合、以下の機能を使用できます。

- エンタープライズ ジオデータベースの構築※、管理

※構築に必要なクライアント製品は「エンタープライズ ジオデータベースの作成に必要な製品（ライセンス）は何ですか？」をご参照ください。

- 以下のサービスの公開
  - フィーチャ サービス（参照専用）
  - ジオデータ サービス
  - ジオメトリ サービス

詳細は、下記のページの ArcGIS Enterprise 機能比較表をご参照ください。

https://www.esrij.com/products/arcgis-enterprise/documents/

## ArcGIS Pro で作成 / アップグレードされたエンタープライズ ジオデータベースと対応する ArcGIS クライアント のバージョンは何ですか？

エンタープライズ ジオデータベースのバージョンは、データベース プロパティの「アップグレード ステータス」で確認することができます。例えば、ArcGIS Pro 3.1 で作成したエンタープライズ ジオデータ

ベースのバージョンは、11.1.0.3.1 (11.1 が ArcGIS クライアント のバージョン、3.1 が Pro のバージョン) です。
ArcGIS Pro を使用して構築した（またはアップグレードされた）エンタープライズ ジオデータベースのバージョンは以下のヘルプをご参照ください。
ジオデータベースバージョン
https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/latest/help/data/geodatabases/overview/client-geodatabase-compatibility.htm#ESRI_SECTION1_05EA78DC472742758C97E13E342DDA95

また、ArcGIS クライアント製品とエンタープライズ ジオデータベースのバージョンの互換性は下記のページで確認できます。
ArcGIS Pro
https://pro.arcgis.com/en/pro-app/latest/help/data/geodatabases/overview/client-geodatabase-compatibility.htm

## エンタープライズ ジオデータベースの作成に失敗します。

[エンタープライズ ジオデータベースの作成] ツールを使用したエンタープライズ ジオデータベースの作成時に発生しうる問題と確認ポイントを以下に挙げます。

| 問題 | 確認ポイント |
|---|---|
| **DBMS サーバーへ接続できない** | ● DBMS クライアントが正しく構成されているか確認してください。<br>● ArcGIS クライアントと DBMS サーバーが異なるマシンにインストールされている場合は、ファイアウォールの設定等を確認しクライアント/サーバー間の接続が適切に行えるか確認してください。<br>● ツールの実行画面の入力内容に誤りがないか確認してください。 |
| **ジオデータベース管理者の作成に失敗する** | ● ジオデータベース管理者に設定するパスワードがポリシーを満たしているか確認してください。 |

# 参考資料

エンタープライズ ジオデータベースの環境構築および運用・管理には、使用する DBMS および ArcGIS に関する様々な情報を理解する必要があります。以下には SQL Server にエンタープライズ ジオデータベースを構築し、運用するにあたって必要となる ArcGIS ヘルプの情報を記載します。SQL Server のユーザーガイドと合わせてご参照ください。

- ArcGIS ヘルプ
  - ArcGIS から Microsoft SQL Server への接続
    https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/databases/connect-sqlserver.htm
  - Microsoft SQL Server のジオデータベース
    https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/geodatabases/manage-sql-server/overview-geodatabases-sqlserver.htm

# ArcGIS
# Geodatabase in SQL Server
# セットアップガイド

2026 年 4 月 30 日

ESRI ジャパン株式会社

https://www.esrij.com/

Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず

本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。

